

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	サロン実習と接客技術	入口 他	90時間

【授業の到達目標】

サロンに必要な接客技術の理解と習得を目標とする。

【講義概要】

自己PR、プレゼンカ・コミュニケーション力を強化し、実務実習につなげていく授業。

【授業計画及び学習の内容】

1	自己PR	
2	↓	
3.4	接客マナー	
5	↓	
6		
7		
8～10		
11		
12.13		
14		
15		
16		実習研究
17		
18		
19		実務実習の実践
20		↓
21～26		
27		
28		
29		
30		実務実習の振り返りと課題の提示

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定の基礎条件とし、実務実習における実習録・勤務状況報告書により評価する

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と演習を基本形式とし、実技を適宜取り入れる。

教員は、理容師、美容師としての経験を活かし、現場で必要とされる知識、技術、接客力を教授する。

担当

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	総合学習	入口 他	150時間

【授業の到達目標】

現代の理容室・美容室・エステサロンに於いて、必要とされる知識の習得を目標とする。

【講義概要】

キャリア教育(進路相談)や学外学習を通して、幅広い知識必要性を学び、秘書検定資格講座、取得資格の対策授業、救急法等を学んでいく。

【授業計画及び学習の内容】

1	進路相談会				
2	↓				
3.4	秘書検定講座				
5	↓				
6～10					
11		救急法			
12～17		↓			
18		試験対策講義			
19		↓		健康促進学	
20.21				↓	
22～33					アロマセラピー
34.35					↓
36～38					
39～43					
44					

【成績評価の方法】

授業の参加を単位認定の為の基礎条件とし、筆記試験模擬の点数を評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・演習・実技を通して授業を行う。
 担当教員は、理容師、美容師としての経験を活かし、現場で必要とされる知識、技術、接客力を教授する。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※総合技術	入口 他	180時間

【授業の到達目標】

幅広いサービスを提供する為に、現在の理容室・美容室・エステサロンの状況を把握し、特化した技術を習得することを目的とする。

【講義概要】

さまざまな技術研究と施術修得を目指す総合的な授業。

【授業計画及び学習の内容】

1	トラブルスキン、ダメージヘアの理解とケア			
2	↓	ハンドマッサージ技術の理解と習得		
3	↓	↓	脱毛技術の理解と習得	
4.5	↓	↓	↓	
6～8	↓	↓	↓	サロン技術の研究 レポート①
9～11	↓	↓	↓	
12	↓	↓	↓	
13～17	↓	カラーリング	↓	衛生内容の理解
18	↓	↓	↓	
19～21	↓	↓	↓	
22～24	↓	アップスタイル	↓	
25～28	↓	↓	↓	
29	↓	↓	↓	
30	↓	↓	↓	
31～33	↓	↓	↓	タイ古式マッサージ レポート②
34～36	↓	特殊パーマ	↓	
37.38	↓	↓	↓	
39～43	↓	↓	↓	
44	↓	↓	↓	
45	↓	↓	↓	資格取得対策

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、2回のレポートを提出する。授業における発言や態度の平常点を5割、2回のレポート内容を5割として評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義・演習・実習・実技を通して授業を行う。担当
教員は、理容師、美容師としての経験を活かし、現場で必要とされる知識、技術、接客力を教授する。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※ヘアケア技術	☆城所 他	90時間

【授業の到達目標】

業界で実践されているヘアケアの理論と技術の習得を目的とする

【講義概要】

業界で必要とされるヘアケア技術を多岐に渡り学ぶことで、毛髪に対しての理解を深めていく授業。

【授業計画及び学習の内容】

☆1	ヘアブローの基礎理論
☆2	ヘアブローの理解と実践
☆3	
☆4	
☆5	ワックス脱毛の理解と実践
☆6	
☆7～9	
☆10	光脱毛、毛髪診断の理解と実践 レポート①
☆11.12	
☆13～16	
☆17	
☆18	
☆19	クリームバスの理解と実践
☆20	
☆21～24	
☆25	
☆26	
☆27	
☆28	

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、レポートを提出する。授業における発言や態度の平常点を5割、レポート内容を5割で評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本とするが、講義・実験も適宜取り入れる。
担当教員は、理容師、美容師、エステティシャンとしての経験を活かし、現場で必要とされる知識、技術を教授する。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	ビジネス情報	高橋 他	30時間
【授業の到達目標】			
サロン経営、購買心理を研究し、現在のサロンの戦略を理解することを目指す。			
【講義概要】			
サロン経営、購買心理、関連法規全般について学び、現在のサロンの戦略法を研究していく。研究発表に於いては研究した戦略についてをプレゼンしていく。			
【授業計画及び学習の内容】			
1 サロン経営について 2 ↓ 3 関連法規 4 ↓ 5 ↓ 6 購買心理とは 7 購買意欲の7段階 8 アプローチ方法 9 ↓ 10 ↓ 11 広告研究① 12 広告研究② 13 広告研究③ レポート①			
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、研究発表に於いてレポートを提出する。授業における発言や態度の平常点を5割、レポート内容を5割で評価する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
基本は講義形式で行うが、グループワークなどの演習を適宜取り入れる。担当教員は、理容師、美容師としての経験を活かし、ビジネス情報を教授する。			担

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※選択・まつ毛エクステ	出崎 他	60時間
【授業の到達目標】			
まつ毛エクステーションの基礎理論と技術を学び、初級認定資格を取得する。			
【講義概要】			
まつ毛エクステーションや衛生に対しての知識・技術・接客力を習得していく授業。			
【授業計画及び学習の内容】			
1 まつエクとは概要・衛生・目とまぶた/粧材説明とテーブルセッティング 2～3 アレルギーについて・カウンセリングとアフターケア/テープワーク 4～9 ツィーザーワーク 10 筆記対策 小テストと解説・まつエクのデザイン 11～17 タイムアップトレーニング 筆記小テスト 18 検定			
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、資格試験合格を持って評価する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習・実習を通して授業を行う 担当教員は美容師としての経験をいかし、現場で必要とされる睫毛エクステーションの知識、技術、接客力を教授する。			

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※選択・サロンスタイル	石川 他	60時間
【授業の到達目標】			
サロンワークの一連を研究・実践する事を目標とする。			
【講義概要】			
サロンでの一連の流れ、挨拶から始まる接客、技術(カット、カラー、セット)、お見送りまでの流れを考え、体験する事で課題を明確にしていく授業。			
【授業計画及び学習の内容】			
1～2	アイロン&ブロー		
3	カラー理論 カラー技術(塗布の仕方)		
4～6	カラー理論 カラー技術(塗布の仕方、ホイルワーク)		
7～8	パーマ理論 パーマ技術(巻き方)		
9～14	パーマ理論 パーマ技術 相モデル		
15	アイロンの巻き方、ホットカーラーの使い方		
16	ピン打ち、結び方		
17	編み込み技術・三つ編み、編み込み(表、裏)、ロープ編み、フィッシュボーン、など		
18	編み込み復習 エクステの編み方		
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件(7割)とし、授業における発言や態度(3割)を評価する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実習形式を基本とするが、講義・演習も適宜取り入れる。 当教員は美容師としての経験をいかし、現場で必要とされるサロン実務の知識、技術、接客力を教授する。			

担

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※選択・ブライダルシェービング	出崎 他	60時間
【授業の到達目標】			
シェービング技術の基礎を学び、最終目的としてブライダルシェービング技術を習得する。			
【講義概要】			
ブライダルシェービングの知識と技術の習得していく授業。			
【授業計画及び学習の内容】			
1～2 レザーの使い方 フェイシャルマッサージ(1) 3 腕、足 シェービング 4～6 ネックシェービング(ウィッグ)→基本→応用 7～8 フェイスシェービング(ウィッグ) 9～14 ワンスシェービング(人間モデル)ネックシェービング(人間モデル) 眉毛、耳等 シェービング 15 トワイスシェービング(基本) 16 トワイスシェービング(応用) 17 シェービング(ブライダル) 18 モデル実習			
【成績評価の方法】			
授業への参加を単位認定のための基礎条件(7割)とし、授業における発言や態度(3割)を評価する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実習形式を基本とするが、講義・演習も適宜取り入れる。 員は理容師としての経験をいかし、現場で必要とされるシェービングの知識、技術、接客力を教授する。			担当教

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※特別授業・選択	石川 他	240時間

【授業の到達目標】

国家試験に合格できる技術能力、学力能力を習得する。

【講義概要】

国家試験第一課題・カット技術の理解と習得 国家試験第二課題・ワインディング技術の理解と習得 国家試験第二課題・オリジナルセット技術の理解と習得 美容技術理論の理解

【授業計画及び学習の内容】

1	ワインディングの理解と実践
2	
3	
4	オリジナルセットの理解と実践
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	カットの理解と実践
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	カットと第二課題の衛生内容の理解
26	
27	カットと第二課題の技術採点方法の理解
28	
29	リハーサルの実践と採点の実施
30	国家試験実技対策授業
31	
32	
33	リハーサルの実践と採点の実施
34	
35	
36	
37	リハーサルの実践と採点の実施
38	国家試験筆記対策授業
39	国家試験筆記対策授業

【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、リハーサルに於ける国家試験採点マニュアルに基づく衛生、技術の技術能力判定試験 技術理論・学力能力判定試験により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習形式を基本とするが、講義・演習も適宜取り入れる。
担当教員は美容師としての経験をいかし、国家試験取得に必要とされる知識、技術を教授する。

窪田理容美容専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科	2025年度	1年
講義区分	授業科目名	担当教員	時間数
一般科目	※特別授業・選択	小笠原 他	240時間

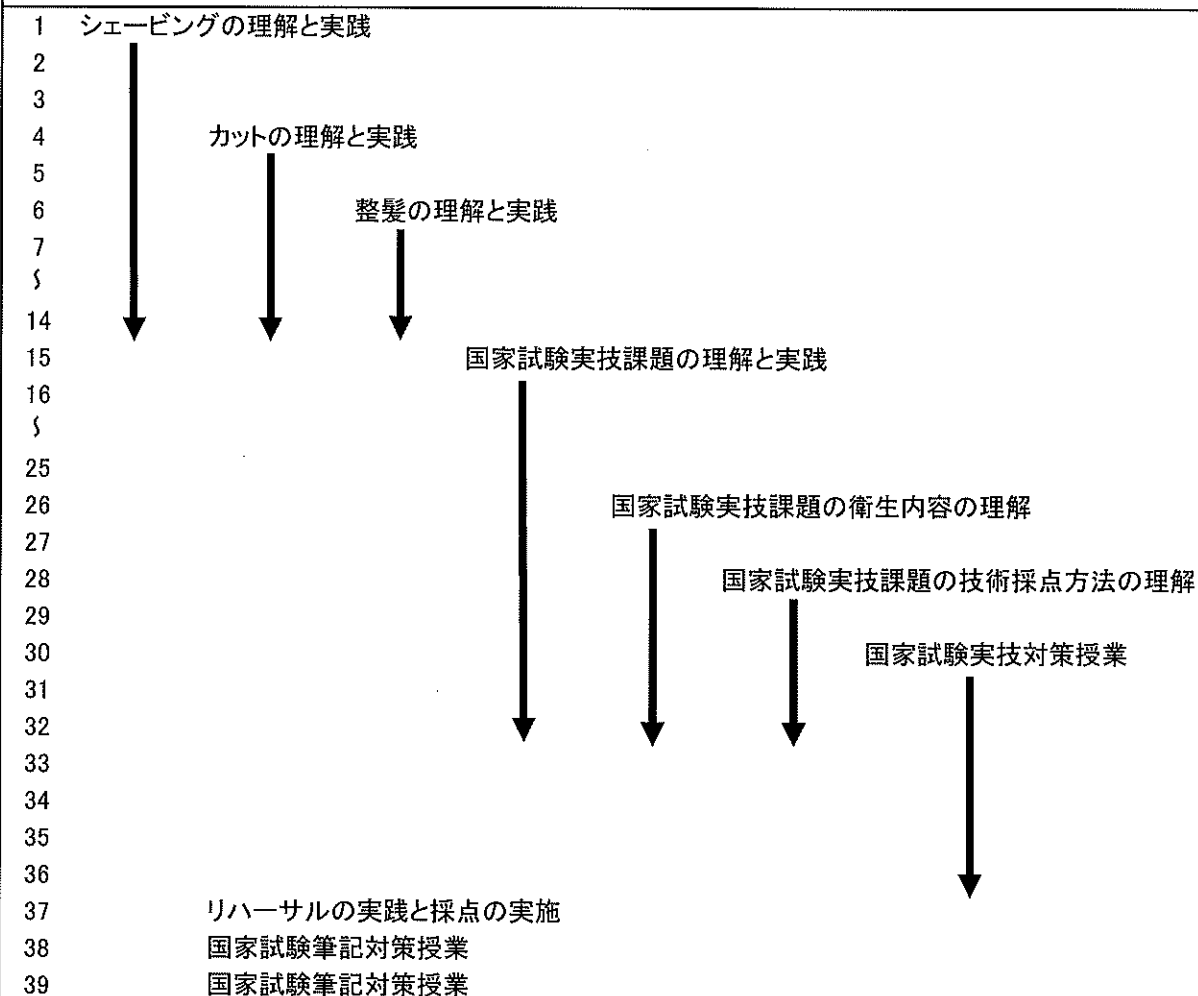
【授業の到達目標】

国家試験に合格できる技術能力、学力能力を習得する。

【講義概要】

カット技術の理解と習得 シェービング技術の理解と習得 整髪技術の理解と習得 理容技術理論の理解

【授業計画及び学習の内容】



【成績評価の方法】

授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、リハーサルに於ける国家試験採点マニュアルに基づく衛生、技術の技術能力判定試験 技術理論・学力能力判定試験により評価する。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習形式を基本とするが、講義・演習も適宜取り入れる。
当教員は理容師としての経験をいかし、国家試験取得に必要なとされる知識、技術を教授する。

担